

「沢治い歩き×読図×夏の低山の歩き方」講習会報告

こんにちは、おくたま登山学校の松本 圭司です。7月6日・土曜日に行われた7月講習「沢治い歩き×読図×夏の低山の歩き方」についてご報告します。スタート地点は武蔵五日市駅からバスで40分の大岳鍾乳洞入口。上養沢行きバスに乗って終点の1つ手前です。林道を1時間ほど歩き、大岳鍾乳洞の前を通り過ぎてようやく登山口。そこからしばらくは沢治いとなり、大滝などを見ながら(比較的)涼しく登れます。しかし最後、沢から離れて大岳山から南東へ伸びる馬頭川尾根に乗るまでが暑い!この30分で熱中症にならないよう、体温を上げないように適宜休憩し、水分を摂りつつゆっくり登ってもらいました。

体温を下げる事が出来ます。風の強さにもよりますがバッテリーは1日持つし、切れたらモバイルバッテリーで充電できます。夏の低山の必須アイテムです。尾根に乗ったら風も出てきて道は緩い登りからトラバースへ。時刻的に雷雨のリスクが高いため、もともと大岳山の山頂には行かない計画です。大岳山荘から御岳方面に下山。下山中に雷雨となり、夏の低山にありがちな状況を体験できました。

11月の講習は毎年恒例の「峠の歴史」です。知らなければ見逃してしまう石碑などを見ながら人々の暮らしと山の関わりを学んでいきましょう。

おくたま登山学校委員会 松本 圭司

沢登り教室実技講習報告

2024年度の沢登り教室ですが、12名の参加者を得て本年7月に開校されました。沢登り教室は、沢登りの実践を通して沢に必要な基礎知識の習得を目的としています。都岳連事務所での開校式を経て、7月20日から21日にかけて実技講習の1回目を実施しました。場所は表丹沢の水無川流域で、宿泊場所は沢登り教室ご用達の作治小屋です。20日の午前中は作治小屋でロープワーク等の基礎的な訓練を実施し、午後は新茅ノ沢に入渓し、F1とF2の実際の滝を2つ登攀し、懸垂下降で下降することを経験してもらいました。

作治小屋に到着し、ミーティングを実施した後、作治小屋で解散です。参加者からは、好天に恵まれ、楽しく沢を体験出来たとの感想が多数でした。沢登り教室は、安全には十分配慮しながら、楽しく自由な雰囲気をお持ちの方は来年度以降の参加をお待ちしています。

安全登山教室委員会 鈴木 博道



シャワークライミング



必死で激流を跨ぐ

加盟山岳会紹介・会員番号 432

1992年創立、今年で32年目となる当会は、沢・岩・山スキーなどを中心にオールラウンドに取り組んでいます。当会の特徴をよく表しているのが「持ち寄り鍋」。各自2〜3品の具材を持ち寄って適当にぶち込みます(味付けは大抵うどんスープ)。「食事当番はめんどくさい」「メニューを考えるのもめんどくさい」。こういった理由で、「持ち寄り鍋」が重宝されます。もともとが他会のはぐれ者同士が寄り集まって出来た当会。山登りを優先するため、めんどくさいことはなるべくやらない方向で進めています。一方で、「同人化」に伴う「会としての継続性の低下」を防ぐため、「個人山行のメンバー公募」の推奨、「会山行の実施」など、横のつながりの強化は意図しています。もっとも、親睦会的性格を持つ会山行ですら、企画担当者が「自分が行きたい」という理由で瑞浪屏風岩や上タケ沢など、「クラックやアイスをやったこと無い人間が行ったらやるのが無いエリア」を企画したりもしますが…

最近では、年齢制限等無いためか、50代で登攀志向だが受け皿がない…というような方がポツポツと入会しています。山登魂 代表 渡邊 剛士



50歳前後のオヤジが多いですが、鼻息の荒い若者もいます。



会山行風景。初夏に沢、晩秋に岩、冬に雪山をやる人が多いです。



大岳沢治いを登っていく。この辺は比較的涼しい



大岳神社の鳥居前で記念撮影。ここから先も岩場があって気が抜けない

編集後記

もう毎年のことですが、猛暑々々々々この夏も熱中症予防の毎日でした。この通信三号の校正が始まる前は、台風一〇号がながく西日本に停滞して大被害をもたらしました。みなさんこの夏山は如何でしたでしょうか。今年も山岳事故が多く発生したのは残念でした。登山は自然相手のスポーツなのでやはり日頃の鍛錬、山行時は五感を研ぎ澄まして楽しむことが重要ですね。さて、今回の通信は安全登山教室委員会から「山の日」の開催されたフィールドでの教室報告や、「山の日 TOKYO 2024 記念式典」参加報告などを掲載いたしました。人気コーナーの「杉山修の山と版画の世界」、加盟団体(山岳会)紹介や、優待施設紹介も楽しみにながらお読みください。この秋から冬にかけて都岳連活動も益々充実していきます。皆様これからも安全に元気に山行を楽しんでください。出版委員会 星野 恒行



スポーツ振興くじ助成事業

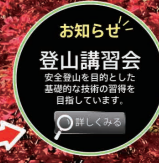


2024年3号

公益社団法人東京都山岳連盟

TMF とがくれん通信

写真: 山岳写真ASA 秋山 久江 / 紅葉と乗鞍岳(乗鞍エコーラインより)



都岳連 HP でクリック!

JMSCA 経営失敗を振り返る

今年度のとがくれん通信第1号で全国統括団体JMSCA財政基盤を強化するための基金への対応についてご紹介しましたが、その後の都岳連の対応状況をご報告するとともにJMSCA経営失敗を財務諸表からも確認しつつ失敗の原因を考え、現状についてもご報告します。

都岳連では再建計画が充分でないこと、経営失敗に対する引責、体制刷新など、経営再建が見込める体制が整っていないことから、2023年度中の基金への拠出協力は見送りました。

一方で大きな赤字を出した2021〜2023年度においてJMSCA理事会に都岳連出身メンバーが多く参加していることとその責任に鑑み、変則的な形ですが都岳連から貸付を受け、代表理事が基金に協力する形で2024年度の基金第二期募集に暫定的な対応をしています。

JMSCAの経常損失(赤字)は2022年度▲9,565万円、2023年度▲3,795万円、2021年度からの3年間で正味財産と積立の計約2億円を赤字で失いました。2023年度末の正味財産は2,034万円ですが、第1期基金拠出が2,740万円あり、基金拠出が無ければ▲704万円の債務超過となっていました。

JMSCAはスポーツクライミングの競技大会運営費、選手強化費などで多くの助成金、強化費などの補助を得て事業規模が5億円程度と大きく膨らんでいます。助成、強化事業には一定の自主財源が求められ、スポンサーによる協賛金などが自主財源となっています。一方、こうした助成、強化事業では利益が出れば助成金、強化費は減額され、利益が出せない構造です。

利益が出せない構造はともかく、なぜ大きな赤字が生じたか? それは予算を超える手配をし、トップが予算範囲を大きく越えて国内外へ出張を繰り返す姿などに倣ってしまった方も多く、大きくタガが外れ。そしてその状態に対し内部統制・牽制、ガバナンスが働かなかったことによります。

そしてJMSCAは会計、予算、倫理、処分などの諸規程違反に対する処分を9月末段階では行なっていません。予算対支管理は改善されてきていますが、再建を進めるためにけじめを付けることが必要と、多くの加盟会正会員からの声が寄せられている状況です。

2024年9月 公益社団法人東京都山岳連盟 会長 廣川 健太郎



山の日全国大会東京2024会場、八王子の名山紹介展示ブース前で、左は八王子山の会:佐野会長

「山の日」記念式典に出席して

厳しい残暑の8月11日、「山の日 TOKYO 2024 記念式典」がJ:COMホール八王子で開催されました。今年は第8回と言う事で、国民の祝日として認知されるようになったのか、2000席もある大ホールがほぼ満席でした。

記念式典とは言っても、主催者や来賓のあいさつはコンパクトで、アトラクションやトークセッションなど出席者が楽しめる内容となっていました。実行委員会が、普段山を楽しんでいる登山者だけではなく、登山や山とはあまり縁のない一般の都民の人々が出席しやすいようにと準備して来たように感じました。

特に、テレビなどで馴染みの野口 健さんと俳優の釈 由美子さんのトークセッション、地元の八王子実践高校書道部の生徒の皆さんの書道パフォーマンスで、会場は大いに盛り上がりました。また、パリオリンピックで種目になったブレイキングの披露もあり、子ども達の元気なパフォーマンスに大きな拍手が送られていました。午後は、JR八王子駅近くの東京たま未来メッセ/えきま未来テラスで行われていた山の日歓迎フェスティバルを参観しました。環境省奥多摩自然保護官事務所をはじめ、東京都環境局や水道局などの行政機関や山と溪谷社、ICI石井スポーツなど山関係の企業、八王子山の会など民間団体のブースが展覧されていました。アクセスのよい、冷房の効いたインドアと言う事で多くの人々が賑わっていました。

総務部長 松本 敏



公益社団法人 東京都山岳連盟

〒101-0048 東京都千代田区神田町2-10 パークサイドセブン2F

Tel/03-3526-2550 (月〜金13:00〜17:00) Fax/03-3526-2551(常時) https://www.togakuren.com E-mail:lej04543@nifty.com

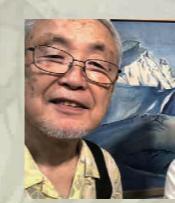
杉山修の山と版画の世界



「遙かなるヴァイスホルン」
8版24色摺 400×500mm 越前和紙 顔料

世界中が異常気象に襲われている。スイスアルプスのツエルマットでは初めての大洪水にみまわれた。一時ツエルマットの村が孤立したらしい。毎年氷河の舌端が30メートルづつ後退している。2080年にはアルプスから夏は雪が消えるだろうと予測されている。日本でも猛暑で最高気温更新、集中豪雨で河川の氾濫、地震の家屋倒壊、小雪によりスキー場の営業期間縮小と、もう地球は完全に壊れてしまった。電力消費量と温暖化、脱炭素に相反するエネルギーのジレンマに人類は解決策がみい出せない。政治家は自国の国民の顔色をうかがって全世界の未来に向けた施策を失っている。原発の使用済み核のゴミのことはだれも口にしない。平均気温+1.5℃は世界の小さな成功例を一つずつ積み上げて行くしかない。産業革命以来人類が犯してきたことも引き返せないのだから…。私達はどうか生きるか。さてかく言う自分も何も出来ないのに、今回はスイスのヴァイスホルンの美しい姿に憧れて作品にしました。

ツエルマットから登山電車でリッフェルベルグまで上がると、主役はマッターホルンですが、その右手奥にヴァイスホルンが美しい均整の取れた円錐形の姿を見せてくれます。初夏ですが氷河を胸懷に抱きながらその姿はあまりにも美しく近寄りたく佇んでいます。いつまでもこの山の姿が変わらずにいることを祈るばかりです。



プロフィール
杉山 修(すぎやま おさむ)
1946年東京、下町に生まれる。
登山活動の傍ら、四季を通して、写真・スケッチの取材を行い、山岳風景をテーマに、自撮り、自彫りの木版画を発表している。
好山会会員、日本山岳協会代表幹事、日本版画院同人、日本山岳文化学会会員
ホームページ : osamuhanga.com

優待施設紹介 赤石温泉 山梨県南巨摩郡富士川町にあり、日本秘湯を守る会の宿



静かで豊かな自然環境に癒される

赤石温泉は、アルプル前衛の檜形山の西麓高台にある、緑一色に包まれた心身の静養に最適な一軒宿。玄関先には水車が回り、昭和レトロの趣がある。宿を取り囲む豊かな自然も魅力で、宿から遊歩道を10分ほど歩くと、そそり立つ黒い岩場に囲まれて白く一直線に流れ落ちる妙連の滝があり、ご主人によると竜神伝説が語り継がれるほどそのパワーは強く、専門誌でも紹介されているという。さらにもう一つの魅力は、樹齢1200年の大杉と氷室神社の鎮守の森の木で、ご主人みずから総て手作りして仕上げたこだわりの風呂。鉄分をたっぷり含んだ朝さび色の鉄鉱泉につかり、疲れを癒すことができる。宿の全てをご夫婦がきりもりし、山菜を取り、それが御前に並ぶ家族的なもてなしも人気で、夕食は部屋でゆっくり味わうことができる。宿泊プランも複数用意され、入浴を楽しむ、庭先100mの所でニジマスやイワナ釣りを楽しむなど、プランについてはホームページ等で確認してほしい。営業期間は3月下旬から11月下旬迄。(露天風呂は4月第1土曜日からの土日連休のみで平日は利用不可)時間が止まったかのような赤石温泉で日常の疲れを癒しゆっくり過ごしてほしい。

ご主人自慢の手作り風呂

- ### 全国優待施設案内
- ◎宿泊施設
 - ◎奥多摩/三条の湯
 - ◎奥秩父/雲取山荘
 - ◎富士山/三ツ峠山荘、トモ工館
 - ◎谷川岳・関東/谷川岳肩ノ小屋、永楽荘、谷川温泉(株)旅館 たにがわ、孀恋の宿 あいさい、土合山の家、下仁田 荒船の湯
 - ◎日光/日光澤温泉、スパ・ビレッジカマヤ、日光湯元温泉(株)奥日光 小西ホテル
 - ◎浅間/天狗温泉 浅間山荘
 - ◎尾瀬/山ノ鼻小屋、尾瀬小屋、燧小屋
 - ◎新潟/笹原館、燕温泉(有)ホテル花文、赤倉温泉大野天風呂「滝の湯」
 - ◎丹沢/蛭ヶ岳山荘、みやま山荘
 - ◎八ヶ岳/蓼科山頂ヒュッテ、赤岳天望荘、ヒュッテ夏沢、美濃戸山荘、八ヶ岳山荘、八ヶ岳オーレン小屋、ペンションさんどりよん
 - ◎北アルプス/明神館、太郎平小屋、薬師沢小屋、高天原山荘、スゴ乗越小屋、みくりが池温泉、雷鳥沢ヒュッテ、らいちょう温泉雷鳥荘、ロジック立山連峰、大和リゾート(株)Royal Hotel 長野、中房温泉、殺生ヒュッテ、新穂高温泉 ひがくの湯と登山者食堂、白馬八方温泉
 - ◎中央アルプス/ゲストハウスみんなのいえ 赤石温泉
 - ◎南アルプス/北岳肩ノ小屋、山彦荘、赤石温泉
 - ◎東北・北海道/八幡平高原ホテル、アルプ天元台、八甲田山荘、飯豊山荘、竜山荘、三斗小屋温泉 大黒屋、酸ヶ湯温泉、八幡平リゾート(株)八幡平マウンテンホテル、(株)宿かり屋ドッドコム 焼走り国際交流村、(有)元湯甲子温泉 大黒屋、十勝岳温泉、(株)社凌雲閣
 - ◎関西・中国/ホテル大山 しろかね、ペンションいぶき、皆生温泉(株)三井別館
 - ◎四国/剣山頂上ヒュッテ
 - ◎登山用具販売店 神田/さかいやスポーツ
 - ◎クライミングジム 西東京市/クライミングジム GIRI.GIRI



<笠ヶ岳の頂上にて>



<笠ヶ岳と笠ヶ岳山荘>

ハイマウンテンスクール報告 <北アルプス 笠ヶ岳 (2,898m)>

安全登山教室委員会のハイマウンテンスクールは3年前より始まり、同委員会のマウンテンスクールもしくは雪山教室の修了者を対象として、グリーンシーズンに2泊3日で実習3回を行う登山スクールです。本年度は1回目に笠ヶ岳、2回目に奥穂高岳、3回目に剣岳の計画となりました。

今回は7月12日～14日に実施された実習1「笠ヶ岳」の山行報告です。笠ヶ岳に登るコースはいくつか考えられます。ひとつは中尾高原口からクリヤ谷に登るコース。そして新穂高温泉から笠新道を経由して登るもの。さらには新穂高温泉から小池新道を経由して、弓折分岐(大ノマ乗越)から笠ヶ岳を目指すものです。以前、クリヤ谷から笠ヶ岳に登った事があったので、当初の計画では笠新道を登り下山はクリヤ谷コースを考えておりましたが、笠ヶ岳山荘に状況の確認を取った所、クリヤ谷コースの登山道の整備をしないらしく現在通行止めとなっているとの事で、笠新道の往復と致しました。集合場所は新穂高温泉、受講者各自で交通手段を考えてもらい12:30に集合、初日はわさび小屋迄2時間たらずの道のりを雨予報の中、さほど濡れないで小屋に到着しました。2日目いよいよ笠ヶ岳へ向けて笠新道の試練の急坂を登ります。



<杓子平にて>

樹林帯を九十九折りに大汗をかき高度を上げて行くのですが、杓子平に出ると笠ヶ岳のアルパイン全容の優れた見晴らしに加え、高山植物を愛でながら歩くことができました。笠ヶ岳は新・花の百名山にも選ばれています。抜戸岳からの稜線上は雲があったが眺めはよく、東に槍・穂高連峰、南は焼岳や乗鞍岳、御嶽山などが望め、翻っては剣・立山連峰や黒部五郎岳、薬師岳などが望めました。残念ながら山頂はガスの中でしたが、登頂をみんなで喜び合いました。1回目の実習は参加者の体力と技量を測るための山行のため、急坂でザレ場やゴロ、岩場もある変化に富んだ笠新道は本実習に最適でした。

安全登山教室委員会 小暮 洋一

<出版委員会からのお知らせ>

とがくれん通信のタイトル写真を皆様から募集いたします!!
都岳連ホームページ山岳写真募集コーナーへ「とがくれん通信タイトル写真用」とコメントをいれて応募してください。

汗かく人が偉い人。

☎03-5394-1861
☎03-5394-1845
✉meiko@pr.email.ne.jp
〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-21-10-4F

国内唯一の山岳遭難対策制度™
JRO(ジロ)の会員制度
JRO 捜索・救助費用を550万円までカバー。
入会お問合せ先 (平日10時～18時)
シローリエゾンセンター TEL.03-6273-1521
日本山岳救助機構合同会社